

ひかりの園だより

# とも に

第67号

発行日：平成29年7月  
編集：法人本部事務局



社会福祉法人 ひかりの園



コーヒーでかんぱい！

# 子育てをしながら「福祉で働く」を考える

## 参加者

|              |       |
|--------------|-------|
| 静光園 介護職員     | 加藤由香里 |
| 第二静光園 支援員    | 松浦 梨紗 |
| 第三静光園 看護職員   | 谷本 葉子 |
| 第二静光園 事務員    | 鶴飼由美子 |
| ねあらい学園 児童指導員 | 野島いずみ |
| ねあらい学園 児童指導員 | 池野 実佳 |
| ねあらい学園 保育士   | 京極 浜子 |
| 工房ゆう 生活支援員   | 中村 真弓 |
| 根洗寮 生活支援員    | 金原 友香 |
| 根洗寮 寮長       | 大橋奈実世 |
| ねあらい学園 園長    | 松本 知子 |
| 工房ゆう 所長      | 鈴木 秀明 |

## 子育てしながら働くって？ その秘訣いろいろ

**(加藤)** 私は子どもが3人いて、高校3年生と高校1年生、小学校2年生の年の離れた子がいます。3人とも学童などに預けることなく祖父母が見てくれたので、親に頼って仕事を続けてきました。大変だったことは、ずっと仕事もして夜勤もしているの、休みの日には家の事をしなければならず、自分の時間がないことです。

**(松浦)** 小学校と学童に行っている子と、育児休暇明けから保育園に預けている2歳の子がいます。仕事復帰してからすぐに夜勤をやったので、下の子は母乳を離すことがまず大変で、今も私がちよつとでもどこかへ行くと泣いて探し回りました。休みの時はなるべく一緒にいてあげるようにしています。二人目の子ができたときに実家に

戻って、両親のサポートを得ながら仕事をしています。

**(谷本)** 小学校3年生の女の子が一人います。私の実家が磐田市で夫の実家が長野県なので、ちよつと助けてくれる人は近くに居ないので、正社員では無理だなと思ってパートで働いています。1年の時は1年生だということで放課後児童会に優先して入れてもらえるのですが、そのあとが難しく、民間の学童保育に今は移っています。

**(鶴飼)** 一人しか子どもはいないんですが、子どもを産んでから短時制度を使わずに勤めてきました。実際子どもは、保育園では大変いい子です。家ではその反動で頑固、わがままで、甘えがあるので(笑)結局一緒にいる時間はスキミングを心がけています。



**(野島)** 2歳5か月の男の子とお腹の中にいます。家も私の実家は川根で遠く、旦那の実家は、まだ二人とも働いているので保育園に預けています。私も6時ギリギリにお迎えですが、「遊びたくて帰りたくない」って言われるので「楽しいのならないか」と思っています。

**(池野)** 私は息子が1歳1か月です。1歳になった時に復帰したのでまだちよつと復

帰して1か月になります。生活リズムが完璧には作れていなくて、私の実家でいつも見てもらっています。それはありがたいなと思うのですが、復帰してから後追いやひどくなったり、夜中に起きておっぱいを欲しがったりとか、ちよつとキツイ部分もありますが、でも実家で楽しく遊べているようなので、今の所はそれでいいかなと思っています。これからどうなっていくか不安があるので、先輩方にいろいろ聞けたらと思います。

**(京極)** 私は娘が三人いて、もう社会人で子どもと言っているのか社会人が一人とあと大学生が二人です。一応、子育てはひと段落しているのかなと思っています。自分たちの時より子育ての環境は良くなっています。自分の方が増えてきて、なかなか今の人たちは仕事が続けづらいいのかなというところがあります。自分を振り返ると「私は6時に帰ります」と宣言して帰っています。自分で仕事の終わりを作る、だからやってこれたのかなと思います。



**(中村)** 2歳3か月の娘が一人いて保育園に預けています。夫もたくさん育児をやりたいと言ってくれるので助かっています。

**(松本)** 今日はお忙しい中、ありがとうございます。参加してもらって座談会は初めてです。子育てしながら働くということが当たり前の時代になっているのですが、「子育てしながら仕事を続けてこられた秘訣や知恵」「工夫したことや大事にしてきたこと」を苦労談も含めて皆さんから声を出していただけたらと思います。



娘は7時半の一番乗りで、降園が大体6時過ぎなので、「今日はラスト3人だ、今日は早いぞ」と言われる状態です。でも、周りの理解もあって働く環境はいいと思っています。



**(金原)** 3歳と1歳の男の子2人がいます。2人とも保育園に通っています。上の子を保育園に預けて復帰した時からずっと今まで時短制度を使わせてもらって、他の方より早く上がらせてもっています。「時短を使ってもいいですよ」と上司が許可をしてくださり、すごくありがたいですし、周りの方も「時間だよ、上がりな」と言ってる声をかけてくれるので、とても素敵な職場だなと感謝しています。『私だけ早く上がる、迷惑をかけているな』と思いつつも有難いと思つて早くあがらせてもらっています。

**(大橋)** 高校1年生の女の子と中学1年生の男の子の2人です。上の子が1歳の時、下の子の時は半年で育休を終えて職場に復帰しました。保育園の頃はとにかく延長保育使うのは当たり前の生活で、7時までの預かりギリギリに迎えに行くことありました。やっぱり一番大きかったのは夫の支え

です。夫も同じ法人内で仕事をしているのですが、かなり協力してもらつて自分が遅い日は夫がご飯を作ってくれたりもしました。最初の復帰の時は夜勤もやっていたので、夜も泣く子どもをあやしなから見てもらうなど、夫の協力があったので、とても感謝しています。

### 夜勤は子育てにマイナス？

**(松本)** どうしても福祉の現場は、昼間の仕事ばかりではなくて夜勤もあるので、夜勤のある方たちに伝えて欲しいのですが、子育てしながら「それでも夜勤をやつていいこう」という乗り越え方とか工夫して何かありますか。

**(加藤)** 親の協力があるっていうのが一番ですね。



**(松浦)** ちょっと私は考え方が違うのかなって思うのですが、夜勤をプラスに考えていて、昼間に自分の時間が持てるし、明けも自分の時間が持てる。正直、自分一人の時間が持てるリラクセスできました。3日行つて夜勤という生活が普通だったので、それをプラスに考えて、自分でリセットして「子どもが帰ってきたら頑張ろう」って

思いながらやれていました。一番は、旦那さんの協力があるからだと思います。

**(松本)** 日勤でいると夜勤つて大変そうないメージがあるけれど、そういう捉え方で考えると夜勤もマイナスではないですね。考え次第で、強みにもなりますね。

**(中村)** 私は夜勤もできると思いますが、やはり夫は「えっ？」って思うので夫の理解をどう得ていくかという問題は出てくるかなと思います。

**(松本)** やっぱり夜勤の辛いイメージってありますね。

**(金原)** 夜勤は復帰してからやっています。さんが、復帰して月々金の勤務になったら「日勤5日間は大変だな」って最初はすごく思いました。「金曜日に息切れる」「やっと金曜日だ」など。前は3日行つて休んで、夜勤やって休んで昼間自分の時間があつてつてというのがどこにもないという感じですよ。

### 日勤5日の子育ての工夫

**(松本)** 日勤の人はどんな子育てでしたか？

**(京極)** パツと切り替えられたのがいいのかな。仕事のことを頭の中で考えていても、車に乗つてスツと迎えに行つたら子どものことを考えるようにしています。朝も、8時に送つていって、職場に向かうと仕事のことを考える。だから日勤が終わつて子どもと買い物行つても自分の時間と思えるし、自分の時間を持ってないと思つたことはありませんでした。

**(鵜飼)** 私は完全に切り替えます。もう車に乗った瞬間、お迎えのときは子どもモード。でも仕事つてなつたら、スイッチオン。ただ、自分の仕事モードの時に子どものことが入つてくるとワウつてなつて、その時の心拍数がすごく上がっちゃいます。

**(松本)** 子育てしながら働くことは、その都度の切り替えモードが必要なのかもしれないですね。



**(池野)** 私は、切り替えはできてないなと思います。仕事でいろいろあると車で「ああ、明日どうしよう」とか考えて帰ると、子どもを見て「そういうえば私、母だった」と思うこともあります。だから今、話を聞いて「いけない」ってすごく思いました。今日から切り替えます。

### 子育て世代への応援団としてのメッセージ

**(松本)** 福祉の職場は、新しい人や女性も多く働いています。特に社会福祉法人はこういう仕事を実現したいと目標をもっている人たちが入ってくるので、子育て経験者にはこれから子育てをしていく後進の人たちの応援団になつてもらいたいと思います。

す。メッセージをください。

**(大橋)** 子育てと仕事を両立する秘訣は、全部完璧にしないことです。



**(金原)** 私は、まずは子どもを第一に考えていきたいです。職場がいいよと言ってくれる限りは時短を使って甘えていこうと思っています。それを許してくれる職場だよと若い人に伝えたいです。職員同士でも助け合ってくれる職場はすごいと思います。そして、先輩の教えを学べる、自分と同じような状況でもちゃんと働いているその背中があることで、これからについてイメージは持ちやすいですね。一段落ついたら次の世代にそれを伝えていくという姿勢を先輩たちが見せてくださっているの、それを自分もやっていきたいと思っています。

**(松本)** 先輩に子育てのことや勤務のことを先輩から聞くことができる職場は、応援のメッセージにもなるのでうれしいですね。辞めてしまうと、それはいい人材がいなくなるという点でもつたいないことだと思います。

**(京極)** 家事は手抜きOKっていうこと、お互いさまで一人で頑張らないっていうこ

とが大事ですね。おじいちゃんでも、友達でも、助けてもらえる人をいっぱい作っておくっていうのも大事なかな。私も働いていて大変な時に、ある方が「仕事はみんなでもやれるけどその子の子育てはあなたしかできないんだよ」って言われて、子育ては自分のやることとして、その優先順位は落としてはいけないと思っちゃってききました。本当に子どものことを第一に考えられるような応援団になっていきたいなと思いました。

**(松本)** 復帰して一ヶ月の立場で、メッセージを送るとしたら。

**(池野)** 先輩がいるので何かあると相談できる。何かあると相談して「いいよ」って言ってくださることってほんとありがたいなって思います。経験者がいらっしやるからこそ、今の自分があるなと思うので、自分もそうなれたらいいなと思います。



**(野島)** 子どもが病気になる、年休をいただくので本当に申し訳ないんですが、子育てをしてない職員の方々にも休みやすい環境ができればいいなと思います。

**(鵜飼)** 協力してもらえらる旦那さんと結婚するといいかも(笑)

**(松本)** 「いいよ」って言ってくれる環境がこの法人の中にはあるんだなっていうのを、みんなの話を聞かせてもらってわかりました。それでも、心苦しいところもあるんです。

**(加藤)** 休み過ぎちゃったりすると申し訳なくて、次に休めなかったりして、無理に学校行かせたりとか、ちょっと熱があっても大丈夫です的な感じで伝えたり、自分も苦しかったし、子どもにも頑張らせちゃったみたいなきっかけがありました。だから、自分が味わってきた苦しかったことは味あわせないように協力してあげようと思います。

**(松本)** そうだね。協力のサイクルが回るようになるといいかな。

### 独身時代との見え方の変化は？

**(松本)** 独身時代の見え方と、親になって見え方の変わった点を聞かせてください。

**(松浦)** 今まで自分が忙しいと思っていた忙しさが違うなと思っています。子どもメインの時間になったので、ご飯とかお風呂とか寝る時間も早めにかかりました。自分は夜型人間で、いつまでも起きていて休みの日も好きなだけ寝るって生活から、規則正しい生活になりました。本当の忙しさってこれなんだってわかりました。

**(加藤)** いつでもご利用者を大事には考えているつもりではいましたけど、この方も誰かの大切な人だと、人の大切さの重みの

感覚が、自分の中で具体的に変わったところがあります。

**(谷本)** 上の子を保育園に預けるときに「え?!この先生で大丈夫かな」って思ったとき、自分以外の誰かに預けるときの心情をその時に感じました。



**(松本)** 独身であつても仕事では利用者への思いがあつてやっていると、その感覚的なところで変わったということですね。

**(中村)** ほんとに自分が親になって日中支援していると「今、こういう対応を親御さんたちが見ていたらどう思うんだろうか」という親視線を獲得してみたところがあります。そして、復帰してから主人との育児の温度差っていうか価値観が違うなっていうのがだんだん見えてきたので旦那と話し合いました。

**(松本)** そういう意味では夫婦で話し合うことも大事な鍵かもしれないですね。子育てや働くっていうことの考え方、そこが違っているとなかなか難しくなるので、夫婦で折り合いを付けたら、こうすればいい点を見つけていくことですね。

**(京極)** 私は一人目の時に親御さんから「な

んで自分の子どもを育てないで人の子どもを育てるんですか」って言われました。それが、いまだに心に残っています。その時には「私も子育てしていますよ」っていういいましたが、自分の子育てを考えるいいきっかけになった事でした。

**(池野)** 今日母に預けてきたんですけど、家に帰ってたんごぶがあるとすごく心配になったりします。親御さんも学園に預けている間は、けがとか病気とかには、心配するんだらうとか。だからこそ正確に状況とかを説明しなければいけないと思います。母親目線でだんだん仕事ができてきているのかなと思います。

**(野島)** 子育てする前から「お母さんのできる範囲で」というのを言ってきたんですが、一日、子育てしながら家事もするお母さんの忙しさが自分の中にもイメージできるようにになりました。お母さんも自分の時間作ってねっていう気持ちも心から言えるようになったことが変わったところですよ。



**(松本)** そう思うと子どもを持つ親になるってある意味すごく見え方変わることで

ね。みんなそれぞれに実感してるっていうことですね。今後、パパの座談会、子育てしながら働いているパパたちの声も聞いてみたいですね。

### これからの子育ての応援団・ 応援できる環境づくり

**(松本)** 今法人の中で施設内の保育所を考えています。そこにこんな機能があると子どもにとっても、それから自分が働く上でもいい環境になるアイデアをください。

**(鈴木)** ずっと自分は法人内保育所と考えています。3歳児まで預かる法人内保育所にしたいなと思っています。理想としては法人内保育所の職員が、年少さんから移った他の保育園にお迎えに行けて、お母さんたちのお仕事が終わるまで法人内保育所で預かる2段階の保育所にしたいなと思っています。あと、病後保育は対応できるようにしたい。開所の時間は朝7時から夜8時くらいまで、夜勤や遅番でも8時くらいにお迎えに来てくれれば食事も、風呂も入れて、連れて帰って寝かすだけの状態で父親さんに引き渡す保育所になったらなって思っています。あと長期休暇の学童



保育が開けたらいいなという考えを持っています。

**(大橋)** 自分が苦勞してきたのは、熱が出たとか、病気としては軽いのもかもしれないけどでも休ませなきゃいけないときの子どもも過ごし方が大変でした。だから、病後保育があると良いと思います。あと、預かりが時間帯として夜8時半とか9時まで預かってくれると継続できる人もいるのかなと思います。

**(金原)** 子どもたちの長期休暇をどう乗り切るか、カバーできるとうれいなると思います。会議とか遅くなるので、その対応もしてもらえるといいなと思っています。



**(京極)** 保育園が法人でできるっていうことだったら、熱の時とか急な対応だったり、熱が出たときは仕事の勤務体制を変える。熱が下がった後の様子見てもらえたりっていうこともあってもいいのかなって思っています。

**(鵜飼)** 熱が出たら翌日は絶対休まなきゃいけないのでそういうときにみてほしい。あと地元のところでは小学校1年までで2年生に進級するときに放課後児童会が終了になります。小学校で部活やるまでの間に

みてもらえるような融通のきく環境ができるといいと思います。

**(松本)** 病後、学童、長期休暇。夜勤のときに対応できる保育園があるといいということですね。そうするとより家庭的な保育園として、へこも一つの我が家〈居場所〉という環境になるといいですね。

**(鈴木)** 子どもの問題、それが済んだら今度は親の問題になってくると思いますので、仕事している間は親を預けるといいうものも必要になってくるだろうし、それが可能になれば、最後まで安心して仕事に集中できる。働きながら子どもを育てる、働きながら親を介護できる。そういう環境にまでつなげられたらいいですね。

**(松本)** ひかりの園という社会福祉法人は、本当に子どもからハンディをもっている方から高齢者で目の見えない方と、いろいろな支えのノウハウがあるので、これらがうまく連携し合って、協働して、地域に発信できるようになってい

くと、これらの法人の担う役割としても充実していくと思いた。

皆さん、貴重なお時間をありがとうございました。



静光園  
村松 健人



私は昔から人と話をすることが好きです。しかし、ご利用者の中には話をすることが苦手な方や嫌いな方もいると思います。そのような方の仲介役になれるようになりたいと思います。

# 新入職員のことば

静光園  
古橋 法子



私は、ご利用者が私と関わる事で笑顔になっていただける介護をしたいと、かねてから夢を持っていました。現実には、なかなか難しい事だと思えますが、少しずつでも夢に向かって前進したいと思います。

静光園  
鈴木 梨紗



私はお年寄りの方と接することが好きなので、ご利用者から信頼され、笑顔で元気を与えられる介護職員になりたいと思っています。そして、介護福祉士の資格も取りたいと思います。

静光園  
大柳 早弥香



何よりもご利用者の可能性を信じて、ご利用者から学びながら、沢山の恩恵を頂くことで、奇跡で溢れる毎日を送りたいと思います。ご利用者の求める声と心を形に表現できる介護士を目指したいです。

第三静光園  
松本 美和



介護経験ゼロからのスタートで分からないことだらけでした。ご利用者が笑顔で過ごせるように先輩方に教わりながら頑張っていきたいと思えます。

第二静光園  
本曰 由希枝



支援員として働き早11か月が過ぎました。ご利用者の今できる事を尊重していきながら、その方々の目となり、手となり、足となり、共に喜びと悲しみを分かち合っていける存在になりたいです。

静光園  
杉山 瑛莉華



自分のやっていることが間違っていないか不安になったり、自信が持てないときも、ご利用者の方へは常に優しく笑顔で接するよう心掛けたいと思います。そして、ご利用者の方が安心して私に任せてくれる信頼される介護職員になれるよう頑張りたいです。

根洗学園  
杉山 奈津美



私の職場における「将来像」は、学園に通われてくる子ども達やご家族はもちろん、学園に通われていない、困り感を持っている地域の方々へも支援をしていきたいです。地域全体で一人の子どもを支えていけたらと思います。

第三静光園  
多田 弘子



ご利用者が車イスに座り、下を向いていたので声掛けをしたところ笑顔で「ありがとう」と言ってくれました。ご利用者にいつも笑顔でいて頂く為には、私は何をしたらよいのか、どのように接していけばよいのかを考え、勉強してまいりたいと思っています。

第三静光園  
堀田 富士夫



ハウスキーパーの仕事をやっていますが、ご利用者さんに好かれる仕事をしていきたいです。少しずつ、仕事を覚えて、将来は介護職員になれるといいと思います。早く職場の一員になりたいです。

根洗学園  
伊豫田 惟



私は、将来子どもからも大人からも信頼される職員になりたいです。子どもの成長をご家族と一緒に喜び、うまくいかない時には一緒に悩み、子どもにもご家族にも寄り添う療育を目指して、努力していきます。

根洗学園  
戸井 佳栄



職場における自分の将来像は、ご利用者だけでなく、関わる人たちと気持ちの共有が出来、人から信頼される人になる事です。そのためコミュニケーションをたくさんとりたいと思います。笑顔で一生懸命頑張ります。

根洗学園  
國持 優



私は、根洗学園で親子がより良い関係を築いていけるよう支援していきたいと考えています。そのために子ども、ご家族の声にしっかりと耳を傾け、親子の架け橋になれるよう一生懸命頑張っていきます。

浜松協働学舎根洗寮  
袴田 真実

私は常に笑顔でいることを心がけ、ご利用者が安心して自分らしく暮らせるような場を作っていきたいです。そして、ご利用者と時間を共有していく中で、様々なことを学び、一人の人間として成長していきたいです。



根洗学園  
高橋 美鈴

私はこれから一人の社会人として働くにあたって、人との関わりを大切にできる人間になりたいと思っています。人の気持ちに寄り添い、感情を共有し、共に悩み喜びながら作業療法士又は、人として成長していきたいです。



根洗学園  
山崎 菜奈未

発達の気になる子どもたちと関わるうえで、子どもの行動の背景を考えることが大切だと思っています。まずは子どもとのコミュニケーションを大切に、一人ひとりのニーズに対応できる保育士になりたいです。



浜松協働学舎根洗寮  
宮舘 知由

昨年の11月に根洗寮で実習をさせて頂き、職員が愛情を持ってご利用者と関わる姿に憧れを持ちました。経験を通して知識と技術を身に付け、愛情を大切にし、ご利用者の良い所を見つける事が上手な生活支援員になりたいと思います。



浜松協働学舎根洗寮  
北 智子

私は福祉の仕事が大好きです。ご利用者が安心して暮らしていける場所、心が穏やかにいてもらえる場所だという気持ちを持って頂けるように、私自身がいつも初心を忘れずに仕事をしていけたらと思います。



浜松協働学舎根洗寮  
小野 海

新社会人としての第一歩を「人と人が関わり合う」職に就く事から踏み出せた事を誇りに思い、仕事を通し、互いの成長を実感しながら、ご利用者と毎日楽しく生活をしていきたいです。



根洗作業所  
川崎 勇太

私はご利用者に寄り添える支援ができるようになりたいです。「寄り添う」と言うことはどういうことなのかを常に考え続けていきたいです。



こもればの家  
鈴木 好

こもればの家に異動して一か月がたちました。少しでも早くご利用者に、側にいると安心できる生活支援員になれるよう、持ち前の「元氣と明るさ」で一先懸命成長していきたいです。



こもればの家  
内藤 佑樹

今は緊張や不安で頭がいっぱいではありますが、一日でも早くご利用者の力になれるよう、日々の業務に誇りと責任感を持って取り組んでいきたいと考えています。



青葉の家  
竹本 芳康

入社してもうすぐ一年になりますが、日々が生きる勉強の毎日です。本年は資格取得を目指して、それを活かせる様に心掛け、ご利用者に楽しく過ごして頂ける生活支援員を目指して、毎日を大切にしていこうと思います。



すてっぴ  
松下 麻知

入社してもうすぐ一年になります。ご利用者と接していく日々の中でコミュニケーションの難しさを感じています。ご利用者との関わりを大切にしながら、気持ちに寄り添い、少しでも支えとなれるよう努めていきたいです。



工房ゆう  
縣 裕美

工房ゆうのご利用者は、身体の不調を声に出して訴えることが出来ない人もいます。そのため、日々の変化を注意深く観察し、少しの変化も見逃さない看護師として勤めていきたいと思っています。



平成29年度入社式および辞令交付式 4月1日

事業活動計算書の要旨

(自)平成28年 4月 1日(至)平成29年 3月31日 (単位:千円)

| 科目         |             | 金額        |
|------------|-------------|-----------|
| サービス活動の増減  | サービス活動収益計   | 2,334,563 |
|            | サービス活動費用計   | 2,227,529 |
|            | サービス活動増減差額  | 107,033   |
| サービス活動外増減  | サービス活動外収益計  | 18,721    |
|            | サービス活動外費用計  | 22,296    |
|            | サービス活動外増減差額 | △ 3,574   |
| 経常増減差額     |             | 103,459   |
| 特別増減       | 特別収益計       | 31,031    |
|            | 特別費用計       | 28,799    |
|            | 特別増減差額      | 2,232     |
| 当期活動増減差額   |             | 105,691   |
| 繰越活動増減差額   | 前期繰越活動増減差額  | 2,301,346 |
|            | 当期末繰越活動増減差額 | 2,407,037 |
|            | 基本金取崩額      | 0         |
|            | その他の積立金取崩額  | 5,974     |
|            | その他の積立金積立額  | 13,474    |
| 次期繰越活動増減差額 |             | 2,399,537 |

資金収支計算書の要旨

(自)平成28年 4月 1日(至)平成29年 3月31日 (単位:千円)

| 科目          |              | 金額        |
|-------------|--------------|-----------|
| 事業活動による収支   | 事業活動収入計      | 2,353,285 |
|             | 事業活動支出計      | 2,139,279 |
|             | 事業活動資金収支差額   | 214,006   |
| 施設整備等による収支  | 施設整備等収入計     | 29,012    |
|             | 施設整備等支出計     | 140,764   |
|             | 施設整備等資金収支差額  | △ 111,751 |
| その他の活動による収支 | その他の活動収入計    | 8,033     |
|             | その他の活動支出計    | 18,179    |
|             | その他の活動資金収支差額 | △ 10,145  |
| 当期資金収支差額合計  |              | 92,108    |
| 前期末支払資金残高   |              | 1,004,462 |
| 当期末支払資金残高   |              | 1,096,571 |

28年度 苦情内容等施設別報告

◎苦情(要望・提案等を含む) 受付状況(H28年4月1日～H29年3月31日)

| 内容        | 静光園 | 第二静光園 | 第三静光園 | 根洗寮 | 根洗作業所(ラポール) | 青葉の家(こもれび) | すてつぷ(ぱれっと) | 工房めい | 工房ゆう(コムニオ) | まど | 根洗学園 | たつく |
|-----------|-----|-------|-------|-----|-------------|------------|------------|------|------------|----|------|-----|
| 説明・情報提供不足 |     |       | 3     |     |             |            |            |      |            |    |      | 2   |
| 手続きの方法の不明 |     |       |       |     |             |            |            |      |            |    |      |     |
| サービスに内容   | 2   |       |       | 3   |             | 1          |            |      |            |    |      |     |
| 職員の言葉・態度  |     |       | 2     |     |             |            |            |      |            |    | 3    | 1   |
| 権利侵害      |     |       |       |     |             |            |            |      |            |    |      |     |
| 被害・損害     |     |       |       |     |             |            |            |      |            |    |      |     |
| 利用者間のトラブル |     |       |       |     | 2           |            | 2          |      |            |    |      |     |
| 環境の問題     |     | 1     |       | 1   |             |            |            |      |            |    |      |     |
| その他       |     |       |       | 1   |             |            |            |      | 1          |    |      |     |
| 合計        | 2   | 1     | 5     | 5   | 2           | 1          | 2          | 0    | 1          | 0  | 5    | 1   |

ひかりの園福祉後援会 (順不同 敬称略)

後援会のお名前が個人情報保護に基づき、表示意思をしてくださった方のみを掲載させていただいております。

平成28年4月～平成28年9月

|          |          |       |          |                |
|----------|----------|-------|----------|----------------|
| 松井 典夫    | 内田 康弘    | 鈴木 利幸 | 株式会社鈴木電工 | 鈴木 昭男          |
| 西塚 紀男    | 大学産業株式会社 | 太田元比呂 | 株式会社アマノ  | 渡辺喜美代          |
| 有限会社西松衣料 | 松井 典夫    | 宇津山幸代 | 河合 隆喜    | 村井 和郎          |
| 阿部 憲彦    | 日管株式会社   | 澤柳 賢一 | 吉田 勝信    | 戸田 絹子          |
| 澤柳 和久    | 好田 友治    | 鈴木 誠  | 大杉 賢次    | 木下 益廣          |
| 嶋津 和子    | 井村 善弘    | 松野 光博 | 小楠 哲史    | 池谷 嘉郎          |
| 鈴木 利協    | エネジン株式会社 | 村田 昌之 | 平松 眞一    | 伊藤 貴佳          |
| 菅沼 晃広    | 加藤 明     | 橋本かよ子 | 山名 輝明    | 株式会社静岡銀行三方が原支店 |

平成28年10月～平成29年3月

|              |            |         |               |
|--------------|------------|---------|---------------|
| 中村 和子        | 磯部 宗孝      | 長谷川敏夫   | 戸田 絹子         |
| いなさ酪農業協同組合   | 太田ひろ子      | 中川 清    | 村井 和郎         |
| (株)大建        | 内田 康弘      | 池谷 隆之   | 伊藤ハツヨ         |
| (株)アカデミー     | 渡邊はま子      | マルケイ    | 鈴木 照恵         |
| 榊原 康裕        | デンキランド三方原店 | (有)山三商事 | 加藤 洋一         |
| フジ産業(株)名古屋本部 | 中村 隆夫      | 山名 輝明   | 遠藤 俊行         |
| 加藤 昌子        | 菅沼 晃広      | 平松 眞一   | 静岡銀行 三方が原支店   |
| 岩崎 琢哉        | 横井 庸夫      | 鈴木 昭男   | (株)ホテルコンコルド浜松 |
| 鈴木 昇時        | 伊藤 貴佳      | (有)西松衣料 |               |

## 社会福祉法人ひかりの園役員

任 期 平成29年定時評議員会終了後  
平成31年定時評議員会終了

理事長 川島 順三

理 事 上滝 憲夫 太田 敏明 高木 誠一  
松本 知子 野畑 雅弘

監 事 西塚 紀男 水谷 耕次

## 社会福祉法人ひかりの園評議員

任 期 平成29年4月1日  
平成33年定時評議員会終了

吉崎 敬次 秋山 正和 久木山充郎  
林ノ内憲弘 松井 典夫 山本 浩之  
柘植 茂

## 社会福祉法人ひかりの園評議員選任・解任委員

任 期 平成29年3月22日  
平成33年定時評議員会終了

監 事 西塚 紀男  
外部委員 坂田登代子 内部委員 深見 誠

## 貸借対照表の要旨

平成29年 3月31日現在 (単位:千円)

| 科目           | 金額        |
|--------------|-----------|
| 資産の部         |           |
| 流動資産         | 1,201,656 |
| 固定資産         | 4,133,115 |
| 基本財産         | 3,588,126 |
| その他の固定資産     | 544,988   |
| 資産の部合計       | 5,334,771 |
| 負債の部         |           |
| 流動負債         | 264,886   |
| 固定負債         | 858,628   |
| 負債の部合計       | 1,123,514 |
| 純資産の部        |           |
| 基本金          | 318,317   |
| 国庫補助金等特別積立金  | 1,238,046 |
| その他の積立金      | 255,354   |
| 次期繰越活動増減差額   | 2,399,537 |
| (うち当期活動増減差額) | 105,691   |
| 純資産の部合計      | 4,211,256 |
| 負債及び純資産の部合計  | 5,334,771 |

## 平成29年度 永年勤続表彰対象者

| 協働学舎  | ねあらい学園 | たつく                     | 静光園 10年                                 | 協働学舎  | 静光園 20年 |
|---|--------|-------------------------|---|-------|---------|
| 鈴木 朱美<br>渥美美千代<br>山下智恵子<br>大石 眞琴<br>足立友香里<br>藤井 良之<br>加藤 祐輔<br>加藤 靖子<br>金原 友香 | 名倉 規代  | 玉置 明美<br>川崎 泰代<br>西尾 崇嗣 | 仲川 愛<br>久古 忍<br>森田 正樹<br>藤田恵美子<br>近藤 隆史 | 大岩 葉子 | 黒田 恵子   |

## 愛の都市訪問・車寄贈



静岡新聞・静岡放送文化福祉事業団「第54回愛の都市訪問」でパン販売用車両をいただきました。

こもれびの家ではパンの製造と「しまうま倶楽部のお店」での販売のほか、ご利用者とともに企業や市役所への移動販売も行っています。ご利用者の笑顔とともに美味しいパンを運び、販売に役立てています。今後も大切にに使わせていただきます。ありがとうございました。



# 聖隷クリストファー高等学校 ボランティア

今回、こもれびの家での「やきものまつり」のボランティアに参加させて頂き、ありがとうございました。毎年、文化祭でしまうま倶楽部のクッキーやマフィンを販売させていただいていますが、実際にこもれびの家を訪れるのは初めてでした。

ボランティアでは、私は陶器コーナーの包装を担当しました。沢山の陶器に囲まれてワクワクして活動することが出来ました。また、同じマグカップでも、一つひとつ色のつき方や模様が違っていて、見ていて全く飽きることがありませんでした。

帰りには、しまうま倶楽部のクッキーを購入して帰りました。そのときご利用者があふれる笑顔で「ありがとうございます」と言ってくれました。思わず私も「いつも美味しいクッキーをありがとうございます」と伝えました。いつも美味しく頂いているクッキーを作ってくださっている方々と顔を合わせ、交流することができたことはとても嬉しいことでした。

現在、地域での交流を深める機会が減ってきていますが、機会があればまた参加させていただきたいと思っています。ありがとうございました。

澤田 瀬奈



私は初めて「やきものまつり」に参加しました。学校からすぐ近くの場所で開催されているのに、私は「やきものまつり」のことを知りませんでした。実際に参加してみると想像以上にたくさんの方がこのイベントを楽しんでいました。私は陶器の販売のお手伝いをしました。私の活動は、購入していただいた陶器にヒビが入らないように新聞紙で包み、重たいものはお客さんの車まで運ぶお手伝いをしました。難しいことではなかったので楽しんで活動することができました。

私は陶器の売り場で活動をしているとき、優しく温かい雰囲気を感じました。その理由として二つのことを考えました。一つはご利用者とご家族、職員さんとの会話です。普段のご利用者の様子をご家族に話したり、ご利用者が嬉しそうに話しかけているのを聞いて、私まで温かい気持ちになりました。

二つ目は参加している全員がとても楽しんでいただいていることです。美味しい食べ物、たくさんさんの陶器やステージでの出し物などで笑顔とふれあうことが出来ました。とても充実した時間を過ごせました。また機会があれば参加したいと思います。

小山 可奈絵

## 浜松日体中・高等学校 社会福祉部 『浜松市青少年善行賞』 受賞

浜松日体中・高等学校は、浜松協働学舎を応援する事を目的としたボランティアによる自主組織「しまうまの家」の会員として、長年にわたり青葉の家・第二青葉の家（現・こもれびの家）の行事に積極的に参加し、交流を深めてきたことが評価され『浜松市青少年善行賞』を受賞しました。今後も「しまうまの家」の活動に積極的に参加させていただきます。よろしくお願ひします。



# 私たち、ひかりの園の職員です。



たっく  
萩原晴美

たっくでの相談を主に担当しています。「ことばがゆっくりで心配です。」「落ち着きがなくて困っています。」「食事、排泄、着替えなど身の回りのことができません。どのように教えていいかわかりません。」などご家族は、子育てへの困り感や不安な気持ちを持って来園されます。ご家族の気持ちが少しでも楽になったり子育てへの不安が少しでも軽くなるように「気持ちを聞く」「ねぎらう」「お子さんへの関わり方を具体的に伝える」「方向性が見える」ことを大切に相談を行っています。

これからご家族の気持ちに寄り添いながら、安心して子育てが出来るようにサポートしていきたいと思っています。



第三静光園  
小林祐一

介護職員として働くようになってから、1年半が過ぎました。前職では作業効率が優先される仕事だったので、入職当時は自分本位の対応が優先し、ご利用者へ負担を掛け余計に時間を要したり、精神的にも焦りが多かったと振り返り反省しています。介護職としてのキャリアは大変未熟ですが、ご利用者との日々の生活を通し、他者本位の精神がいかに大切で、自分や他者がともに幸せに過ごせる事に気付かせてくれたご利用者、職員の方達に大変感謝しています。これからもご利用者と自分が共に笑顔で過ごせるように、いつもポジティブに楽しく生活していこうと思っています。

簡単に自己紹介させていただきます。熊本県上天草市にある小さい島(維和島)が出身地で、天草四郎の母親の出身地とも言われています。海にはイルカも泳ぎ、風光明媚なところですよ。地元を離れて16年が経ち、妻と未就学児の男の子が二人。お金や労力も掛かり地元に戻る機会は少ないですが、浜松に来て3年、自然と程良い都会感に満足しています。ここ数年は読書にはまり、”引き寄せの法則”に関する書籍が私のバイブルとなっていて、この本の中の『思考は現実化する』、『類は友を呼ぶ』『思いやり、感謝』の言葉をモットーに、大いに楽しんで大いに泣いて人間性豊かに生活していきたいと思っておりますので、今後とも温かいご指導お願い致します。



コムニオ湖東  
杉山早百合

学生時代に学舎祭を見学させてもらい根洗寮の先進的な取り組みに感銘を受け、就職のご縁を頂きました。以来17年、根洗寮ではユニットでの支援、ショートステイ、研修等の業務や、現在勤務しているコムニオ湖東の立ち上げにも関わらせて頂いて今に至っています。コムニオ湖東は色々な思いで立ち上げたGHで、ホームとしての課題は様々ありますが、個人的に抱えている課題といえば、GHならではの業務といえるでしょう“料理”です。私以外のスタッフが短時間で様々な食材を使い魔法のように数種類のメニューを作り上げていく中、長年「ママごはん」に甘んじていた自分にはハードルの高い業務となりました。自分が料理をする前には冷蔵庫をチェック、クックパッドを起動させ、入念な準備が欠かせません。GH立ち上げ前にはソフト食の練習にも取り組んでいましたが、普通食もまだまだ課題な自分です。

キッチンから漂う煮物の匂い、ジュージューと油のはねる音、リズムカルな包丁の音…何とも言えない生活の臨場感

感がGHにはあります。そこに“ハラハドキドキ(みんな食べてくれるかな?)”のスリル感も加えて、日々コムニオ湖東での業務を楽しんでいます。



# 支援のワンポイント

## 障がいのある人の就労支援

障がいのある人もない人もともに働く社会の実現に向けて、昨年4月に障害者差別解消法と改正障害者雇用促進法が同時に施行され、雇用における障害者差別の禁止と雇用の際の合理的配慮が企業に義務付けられました。また、来年4月からは企業には精神障害者の雇用が義務付けられ、障害者雇用が一層促進されることとなります。

社会福祉法人ひかりの園でも福祉サービス事業所として障がいのある人の働く場を積極的につくってきましたが、施設の職員としても知的や精神、身体に障がいのある人を雇用しています。施設の介護やハウスキーパー、管理業務を担い、誰もがなくてはならない存在として活躍しています。

さて、障がいのある人の「働きたい」を実現するためには、現在さまざまな施策や支援策が講じられています。職種の希望や障がいの状況に合わせて、各種制度やサービスを上手く活用していくとよいと思います。

### 一般企業への就職を希望する人

**ジョブコーチ**：職場適応援助者が事業所に派遣され、きめ細かな人的支援を行うことにより、職場での課題を改善し、職場定着を図ります。

**地域障害者職業センター**：職業評価、職業指導、職業準備訓練、職場適応援助等の専門的な職業リハビリテーション、事業主に対する雇用管理に関する助言等を実施します。

**障害者就業・生活支援センター**：雇用、保健福祉、教育等の関係機関の連携拠点として、就業面及び生活面における一体的な相談支援が行われています。

**障害者職業能力開発校**：障害のある人の職業訓練の専門校で、きめ細かい職業訓練を実施しています。(静岡県立あしたか職業訓練校)

**障害者トライアル雇用事業**：原則3か月、試用雇用することにより、適性や能力を見極め、求職者と事業主の相互理解を深め、継続雇用へつなげていく制度です。

**障害者の態様に応じた多様な委託訓練**：企業、社会福祉法人、NPO法人、民間教育訓練機関等が委託を受け、職業訓練を行い就労に結びつけます。

**就労移行支援事業所**：一般就労等への移行に向けて、事業所内や企業における作業や実習、適性に合った職場探し、就労後の職場定着のための支援を行います。

### 福祉就労を希望する人（常時福祉的な支援が必要な人）

**就労継続支援事業所**：企業への就労が困難な人のためのいわゆる福祉作業所です。A型とB型の二種類があります。A型は雇用契約を締結し、原則最低賃金が保障されます。B型は雇用契約はなく、工賃が支払われます。

**生活介護事業所**：重度の障がいのある人が通所する施設で、介護や機能訓練の他にも生産的な活動を提供します。



ハウスキーパーとして福祉施設で働く

## 社会福祉法人 ひかりの園の概要

理事長 川島順三  
法人本部 事務局長 太田敏明  
〒433-8108 浜松市北区根洗町 681-5  
TEL(053)437-8289 FAX(053)430-0819  
Eメール info@hikarinosono.or.jp

ひかりの園ホームページ  
<http://www.hikarinosono.or.jp/>



|  |  |  |   |  |
|--|--|--|---|--|
| 特別養護老人ホーム<br>静光園<br>園長 山中康義<br>☎ 053-445-1300      | 養護老人ホーム<br>第二静光園<br>園長 佐藤三四二<br>☎ 053-428-3128 | 特別養護老人ホーム<br>第三静光園<br>園長 栗本昌紀<br>☎ 053-437-8288    | 小規模多機能型居宅介護事業<br>なごみの家<br>管理者 和久田勝教<br>☎ 053-445-1753 | グループホーム<br>コムニオ湖東<br>寮長 鈴木秀明<br>☎ 053-485-4600 |
| 児童発達支援センター<br>浜松市根洗学園<br>園長 松本知子<br>☎ 053-436-9318 | 子ども発達センター<br>たっく<br>園長 松本知子<br>☎ 053-485-6122  | 生活介護<br>根洗作業所<br>所長 深見 誠<br>☎ 053-436-5529         | 生活介護<br>青葉の家<br>所長 犬塚 淳<br>☎ 053-570-1700             | 生活介護<br>こもれびの家<br>所長 藤井良之<br>☎ 053-439-8235    |
| 生活介護<br>工房めい<br>所長 鈴木秀明<br>☎ 053-430-4710          | 生活介護<br>工房ゆう<br>所長 鈴木秀明<br>☎ 053-570-1310      | 障害者支援施設<br>浜松協働学舎根洗寮<br>寮長 大橋奈実世<br>☎ 053-430-0596 | グループホーム<br>ラポール根洗<br>寮長 平野貞裕<br>☎ 053-420-1325        | 手作り陶器・手作りクッキー<br>焼きたてパンのお店<br>しまうま倶楽部          |
| グループホーム<br>すてっぷ・ほっぷ<br>寮長 大橋正季<br>☎ 053-570-1702   | グループホーム<br>こもれび<br>寮長 藤井良之<br>☎ 053-439-6800   | グループホーム<br>ぱれっと<br>寮長 大橋正季<br>☎ 053-420-0250       | 相談支援事業所<br>まど<br>室長 高木誠一<br>☎ 053-570-1312            | こもれびの家併設店舗<br>三方原霊園バス停の東側です。<br>☎ 053-439-8235 |

### 編集後記



藤井良之

4月より「第二青葉の家・第二根洗作業所」は「こもれびの家」と名前を変えてスタートしました。障がいのある仲間たちが作った焼き立てのこもれびパン、世界に一つしかない個性豊かな遠州根洗窯の陶器が並ぶ『しまうま倶楽部のお店』では、皆様のご来店を心よりお待ちしております。